

令和7(2025)年度
出張講義一覧



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

福山大学では、社会貢献の一環として、本学教員が高等学校に出向いて高校生向けに講義を行う「出張講義」に積極的に対応しております。

この『福山大学出張講義』をご活用いただき、本学あるいは大学進学の目標や将来の目標、進路選択にお役立ていただければ幸いです。

本学の出張講義をご活用いただく際には、以下の点を参考とされた上で、お気軽にお問い合わせくださいますようご案内いたします。

各学校の先生方には、ご多忙のところ恐縮ですが、なにとぞ、学校行事に組み込んでいただければ幸いです。

* 出張講義の申し込みについてのお願い *

- ・申し込みは、実施予定日の1ヶ月前までに入試広報室にご連絡ください。
- ・期日が迫っている場合でも、できる限り対応させていただきますので、実施希望日が決まった時点で、ご連絡ください。
- ・本学の行事や入学者選抜試験等のため、希望の期日に教員を派遣できない場合もございますので、ご了承ください。

◇申込手順◇

1 希望学部・学科・テーマ(担当教員)の決定

本紙を参照の上、希望学部・学科・テーマ(担当教員)をお決めください。

希望については、できる限り対応させていただきますが、担当教員の研究活動等の都合により希望日に派遣できない場合もございますので、ご了承ください。

特にテーマ(担当教員)を選択されない場合、学部・学科名の希望のみで、派遣教員を選出することも可能ですが、開催趣旨に即した教員を派遣するため、できる限りテーマ(担当教員)をお決めください。

2 入試広報室へ連絡

希望学部・学科・テーマ(担当教員)がお決まりになりましたら、入試広報室にご連絡ください。

◇問い合わせ先◇

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵

福山大学 入試広報室

Tel 084-936-0521(直)

経済学部	経済学科	p. 3-4
	国際経済学科	p. 5-6
	税務会計学科	p. 7
人間文化学部	人間文化学科	p. 8-9
	心理学科	p. 10-12
	メディア・映像学科	p. 13-14
工学部	電気電子工学科	p. 15-16
	建築学科	p. 17-19
	情報工学科	p. 20-21
	機械システム工学科	p. 22-23
生命工学部	生物科学科	p. 24-25
	健康栄養科学科	p. 26
	海洋生物科学科	p. 27
薬学部	薬学科	p. 28-35

経済学部 経済学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
吉田 卓史	教授	スポーツにおける指導者の役割	スポーツで素晴らしい結果を残している選手の裏には必ず良い指導者が存在しています。また、学校内、会社、家庭などどんな組織の中にも指導的な役割は必要です。この講義では今求められている指導者のあり方について考えてみたいと思います。	相談に応ず
佐藤 彰三	教授	自治体(市町村)の財政状況と将来の負担について	北海道夕張市の財政破たんは、自治体でも破たんするという衝撃的なことありました。この度の新型コロナの地方財政に及ぼす影響も計り知れないものがあります。地方自治体の財政状況は、現在そして将来において住民の皆さんに関わる課題として認識することが必要です。自治体の財政運営などを理論と実務家教員としての経験もふまえて講義します。	相談に応ず
三川 敦	教授	はじめての経済数学 (回帰直線)	経済に限らず、データを集めることはよくある。たとえば、各家庭の所得と支出を調べ、所得をx座標、支出をy座標とすれば、各家庭毎に座標平面に点を打つことができる。多くの家庭を調べ、沢山の点を打っていくと、それらの点は、てんてばらばらにあるのではなく、ある関係性をもつている様に見えてくる。この講義では、点が3つの場合に、その関係性を表す回帰直線を求めてみよう。	月曜日 (それ以外でも相談に応ず)
李 森	教授	勉強及び働くことの意義について	1人は一週間40時間、生涯で8万時間もを労働に冷やしている。人生の大半を仕事にあてている計算になるが、何が仕事の意味をもたらすのか。これについてさまざまな側面から考える。	木曜日
助田 晓	講師	誰かが得をすると誰かが損をするのか ～Win-Win関係はどこにある～	経済学を学ぶ大きなメリットの1つに、Win-Win関係について理解できるということがある。ゼロサムのケースと比較しながら、Win-Win関係にある事柄について高校生に考えていただきたい。	相談に応ず

経済学部 経済学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
山下 陽平	講師	スポーツの魅力や 価値ってなんだろう	<p>スポーツ経営学を学ばなくても、経済学で学んだことをスポーツ関連にも応用すれば良いでは？と考える方もいるのではないか。この講義では、一般的な経営学とスポーツ経営学の違いについて学び、スポーツの魅力や価値をどのように伝えていけるのかについて高校生に考えてもらいたい。</p>	相談に応ず
田中 征史	講師	新しいテクノロジーは 私たちの仕事を どう変える？	<p>近年、AIやロボット技術の急速な発展に伴う雇用喪失が懸念されています。しかし、技術革新によって人間の仕事が無くなる訳ではありません。仕事の形態が変わっていくのです。新時代に求められるスキルとは何か？この講義では、ミクロ経済学と労働経済学の理論をもとに、このテーマに関する経済学の最先端の研究に触れつつ、新しいテクノロジーが及ぼす影響について紐解いていきます。</p>	相談に応ず

経済学部 国際経済学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
早川 達二	教授	マクロ経済学を学ぶ意義	マクロ経済学が取り扱う問題は多岐にわたる。その関心や分析手法は変遷するが、多くのマクロ経済現象自体は、歴史上繰り返し起こる。マクロ経済学は、不況と失業、財政と諸課題、対外債務、国際経済・開発、金融等、諸々の経済現象を分析対象とするので、状況判断、例えば、公約された経済政策を評価する場面等に生かされる。	金曜日
Bisset Ian James	教授	令和元年の金融世界	中国経済は成長しており、世界の株式市場は。日本政府は、NISAやiDeCoプログラムなど、投資を奨励するためのいくつかの良い政策を導入しました。しかし、日本人は海外に投資しません。どうしてでしょうか？	相談に応ず
足立 浩一	教授	世界が抱える問題をSDGsから考える	2015年に国連サミットで採択されたSDGsは、すでに10年が経過し、2030年までに17の目標はどれほど達成できるでしょうか。SDGsの目標は、互いに関連するものが多くあります。現在世界が抱える様々な問題点と解決策をSDGsを通して皆さんと一緒に考えてみたいと思います。	相談に応ず
鍋島 正次郎	准教授	経済人類学を楽しく学ぶ	日本社会の国際化、経済のグローバル化の中で、海外の人や文化との接触は、私たちに新鮮な刺激を与えてくれる一方で、価値観の対立や文化摩擦を生み出しています。そこで、高校生の皆さんには、経済人類学の基礎に触れ、異文化を学ぶことの楽しさと難しさについて、考えてもらいたいものです。	相談に応ず
高山 和夫	准教授	GDPについて学ぼう	経済のデジタル化、グローバル化が進む中で、経済社会の構造が大きく変わろうとしています。そのような中、国際間の経済比較をする上で重要な経済指標であるGDP(国内総生産)についての改訂に向けた議論が交わされています。私は、このGDPについて長く実務に関わり、研究を重ねています。このGDPについて、皆様と一緒に学び、考えてみたいと思います。	相談に応ず

経済学部 国際経済学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
吳 青姫	講師	食卓からみた中国経済	日本人は一日に少なくとも数十種類以上のmade in Chinaに触れているはずであり、日本だけでなく、世界の約80%の国々からしても、中国はそれらの国々にとって第一もしくは第二の貿易パートナーになっています。中国経済の底力、世界への影響力、中国と日本との繋がりを各経済指標と対外貿易データを用いて解釈し、さらに食糧経済や栄養経済の重要性を重点的に解説します。	相談に応ず
鈴木 伸	講師	国際政治・経済を見る目を養う —高校生からの世界との向き合い方	私たちの生活は大きく経済に左右されています。そして経済は自分の住んでいる国の中の問題だけでなく、遠い海外の影響も受けます。世界の政治・経済の仕組みを学ぶことは、直近の進路選択を含め、人生選択にとってますます重要と言えるでしょう。この授業では過去の経済学者たちの考え方や講師の研究テーマであるヨーロッパ(特に北欧)の話を踏まえながら、「政治・経済」を見るために必要な考え方を学んでいきます。また相談に応じて、海外に出てで調査・研究することについてのお話や、ゲームを通じたワークショップも可能です。	相談に応ず

経済学部 税務会計学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
張 楓	教授	近現代地方産業集積のダイナミズム	トヨタ、マツダ、LIXIL、山崎製パン、SamsungDisplay(韓国)などの大手企業はご存知でしょうか。では、三和製作、ホーコス、シギヤ精機製作所、光陽機械製作所などの地元中小・中堅企業はいかがでしょうか。 地方企業経営の歴史的ダイナミズムについて「縁の下の力持ち」をキーワードに具体的な事例を交えつつ、紐解いていきます。	相談に応ず
白木 康晴	教授	税の意義について	税の意義の概要を説明する。	相談に応ず
原岡 和生	教授	商品価値、ってなに？	商品の価値って、何でしょう？バリューチェーン(価値連鎖)を考えることにより、企業活動のプロセスの理解、そしてそれらの繋がりを、実例を示しながら平易に講義いたします。	相談に応ず
許 霽	教授	会計の国際化	社会人に必要不可欠な素養である簿記・会計の知識はなぜ重要なのでしょうか。すでに120各国以上に導入されている国際会計基準(IFRS)は、我々の日常生活にも影響を及ぼしているのはなぜでしょうか。歴史的展開を踏まえながらお話しします。	相談に応ず
大城 朝子	准教授	はじめての国際経営学～コーラは国によって味が違う？！～	国際経営と聞くと、「なんだか難しそう…。」「自分には関係ないかな。」などと思つていませんか？「コーク(コーラ)の味は国ごとに違うべきか」という問いは非常に有名な国際経営学研究者の本のタイトルになっています。近年、グローバル化という言葉をよく耳にするようになったかと思います。そのグローバル化を考える際に「コークの味は国ごとに違うべきか」という問い合わせで国際経営に関する知の探究が始まります。	相談に応ず
勝田 篤	講師	会計って何だろう？	突然ですが、「お金」は大切です。では会社(企業)ではお金はどのように扱われているのでしょうか。このような会社におけるお金の仕組みを勉強するのが「会計学」です。そして会計学をきわめて、難しい試験に合格した人たちが「税理士」や「公認会計士」としてお仕事をされています。福山大学では会計を基礎の基礎から学び、在学中に日商簿記2級試験に合格する学生も多数おられます。	金曜日

人間文化学部 人間文化学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
柳川 真由美	教授	神辺本陣の建築と地域	福山市神辺町にある神辺本陣は広島県の重要文化財に指定されています。建物を見たことがある、という人もいると思いますが、本陣には手紙や記録、絵図など、「古文書」も多く残されています。絵図や記録を読み解き、神辺本陣の建物や敷地内の様子が変化していく過程や、普請における地域との関わり、宿泊する大名との関係などについて解説します。	月曜日
原 千史	教授	映画の歴史と初期ドイツ映画の黄金時代	19世紀前半の写真の発明に続いて19世紀末に発明された映画は、1910年代から20年代にかけてとくにドイツで飛躍的に発展し、『カリガリ博士』や『メトロポリス』などの不朽の名作が生まれます。映画の誕生からその普及に至る流れについて作品紹介をまじえて分かりやすく解説していきます。	金曜日
重迫 隆司	教授	1. 英語の詩を読む: Emily Dickinsonの世界 2. 英語の詩を楽しむ: ロックの歌詞を読む	1・2とも、英語がわかると自分の世界が広がること、また、勉強としての英語があまり得意ではない生徒達にも、英語を学ぶことに興味を持ち、その楽しさを実感してもらうために、英語の詩や歌詞を紹介します。	火曜日
清水 洋子	教授	『論語』から学ぶ友達との関係	中国古代の思想家である孔子の言葉を収録する『論語』は、現在も世界中で読み継がれている古典です。『論語』がここまで愛されているのは、普遍的な人間のあり方を、一人一人が自由に学ぶことができるからではないでしょうか。講義では、友人関係を中心に、「人付き合いとはそもそもどういうことか?」について、孔子の言葉を紹介しながら解説していきます。	月曜日
市原 晋平	准教授	第一次世界大戦期捕虜収容所の文化世界	バームクーヘンを日本で最初に焼いた人物は、戦争捕虜として広島の捕虜収容所に収容されていた、という話を聞いたことはあるだろうか? 戦争捕虜と聞くと、過酷な状況や手ひどい虐待を思い浮かべる人が多いかもしれない。しかし、主戦場から比較的遠く離れていた第一次世界大戦期の日本では、日本軍の捕虜となつたドイツなどの兵士たちは、比較的文化的な生活を送ることが保証されていた。いくつかの収容所での事例を通して、世界とつながる日本の一コマをご紹介したい。	月曜日

人間文化学部 人間文化学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
岩崎 真梨子	准教授	地域方言の生き残り戦略	伝統的な方言が失われていき、多くの人が共通語を話せるようになったと言われる今日。「方言はなくなってしまうのか?」という質問もよく受けます。そんななかで、地域方言はどのようにして生き残っているのか。古典における方言から現代の方言の保存・継承活動まで、幅広く分かりやすくお話しします。	相談に応じます
古内 絵里子	講師	歴史と疫病—奈良時代の天然痘とその対応策から	新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、我々の経済・社会・文化は大きな影響を受けています。歴史を振り返ると、このような大規模なパンデミックは、世界各地で度々発生しています。日本でも1300年前の奈良時代に天然痘ウイルスの大流行がおきました。この未曾有の事態に対して、当時の人々が、どのような対応策をとり、疫病に立ち向かっていったのかを解説していきます。	月曜日
両角 遼平	講師	歴史教科書は「外国人」をどのように描いているか?	教科書は単に「事実」を伝達するものでもなければ、価値中立的なものでもありません。社会的構築物である教科書は、カリキュラムの一部として、社会が正当であり真実であると認めている認識を生徒に創り上げることに関与します。講義では、生徒とともに歴史教科書の記述を分析します。分析を通して、日本社会が「外国人」をどのような存在と捉えているのかを解明し、多文化社会に向けた社会構造の課題を見出します。	金曜日
奥村 尚大	講師	岡田(永代)美知代「大火の後」で考える文学研究	大正時代の女学生たちは、どのように火災から避難したのでしょうか。多くの人は今と同じように避難したと考えると思います。ですが、当時の小説作品を読むと、現代と大きく異なった表現がなされていることがわかります。府中市上下町出身の作家・岡田(永代)美知代(1885-1968年)の小説「大火の後」(1913年)を分析し、過去の避難行動を明らかにします。また、文学作品から当時の人々の考え方や習慣を読み取ることを通じて、文学研究の意義や方法、視点について考えます。	月曜日

人間文化学部 心理学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
日下部 典子	教授	ストレスって減らせるの？	日常生活はストレスだらけ。多くの人が様々なストレスを自覚していることでしょう。ところで、ストレスって何でしょう？ストレスで気持ちが沈んだり、あるいはお腹が痛くなったり…。この講義では、ストレスのメカニズムを知り、ストレス軽減の方法と一緒に考えたいと思います。	月曜日
中島 学	教授	「立ち直り」の心理学	失敗しない人は誰もいません。人は失敗からどのように気持ちを入れ替えて、日々の生活に戻っている・いくのでしょうか？最大の失敗が犯罪や非行であるとする、その立ち直りから学ぶべきことはたくさんあるように思います。犯罪や非行に陥った人は、そのからどのようにして、立ち直り、社会復帰していくのか、また、その「立ち直り」には何が必要とされるのか、立ち直りの道筋と支援のあり方についてお話をいたします。「反省」や「改善」の限界を示しつつ、「希望」の形成についてお話をしたいです。	相談に応ず
赤澤 淳子	教授	昔話と心理学	「一寸法師」や「かぐや姫」など、皆さんがあやしむ頃から慣れ親しんだ昔話には、どのようなメッセージが隠されているのでしょうか？本講義では、様々な昔話を心理学という視点から読み解いていきます。	金曜日
赤澤 淳子	教授	親密な二者関係の心理	恋愛関係や夫婦関係など、親密な二者関係における満足度に影響を及ぼす要因や、デートDVやDVなど、暴力的な関係性の特徴や暴力の生起要因について自身の研究や最新の研究を交えながらお話をします。	金曜日
山崎 理央	教授	身のまわりの心理学	普段の私たちの生活のなかで、何げなく見過ごしたり、気に留めることなくやり過ごしていることも、心理学の視点を通して見ると非常におもしろい現象である場合があります。そんな心理学にまつわる身のまわりのトピックスをいくつか紹介しながら「こころ」のはたらきについて触れてみたいと思います。心のなかの気がかりなこと、「心の整理法」についても取りあげます。	相談に応ず

人間文化学部 心理学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
中野 美奈	准教授	マインドフルネスについて セルフ・コンパッションについて	マインドフルネスとは、過去や未来ではなく“今ここ”に気持ちがあること、価値判断しない純粋な好奇心、自分や他者への思いやりの気持ちに満ちた状態を指します。精神的健康だけでなく、集中力や発想力やリーダーシップ、心の知能指数と呼ばれるEQの向上などが期待できます。マインドフルネスとは何か、どのように日常生活で実践できるのか、わかりやすくご紹介します。 マインドフルネスと両翼を担っているのがセルフ・コンパッションです。大切な他者に対するのと同様に、自分にも思いやりのある温かな心で接することは、ストレスフルな日常に安心と安全をもたらします。	相談に応ず
安藤 孟梓	准教授	性の多様性を 考えてみる	ネットやテレビでLGBTQ, SOGI, セクマイという言葉を聞くようになりました。なんとなくは分かるけど…という人も多いのではないかでしょうか。 実は性は男女の2つで分類できるほど単純なものではありません。いろいろな性があり、人によって少しずつ違うのです。性の多様性に触れてみましょう。	金曜日
大杉 朱美	准教授	捜査に活かす心理学	人の記憶を探るポリグラフ検査、正しい情報を引き出す取調べ手法、膨大な情報を分析して犯人に迫るプロファイリング等、実際の犯罪捜査に活かされる心理学について、その実態を元「科捜研の女」がわかりやすく解説します。 研究から得られた知見や仮想事例も合わせて、心理学がいかに犯罪に立ち向かうかをご紹介します。	月曜日
寺田 和永	准教授	幸せな生活に向けて	多くの人は、幸せな生活、人生を送ることを望んでいます。では、幸せな生活を送るためにには、どのようなことが大切なのでしょうか？ そこで、近年、注目をされるポジティブ心理学の知見や講義担当者の研究内容を紹介し、幸せな生活に向けて私たちに必要なこと、できることについて考えてみます。	相談に応ず

人間文化学部 心理学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
金平 希	講師	心理学に触れてみる	<p>心理学という授業は高校ではあまりなじみがないかもしれません。心理学とは心を読んだり、血液型占いをしたり…といった怪しいものではありません。</p> <p>心理学psychologyとは、psycho(精神、心)のology(科学、学問)です。つまり、心を科学的に明らかにしていきます。心理学について少し触れてみませんか？</p>	金曜日
向井 智哉	講師	心理学とハラスメント	<p>あまり考えたくないことですが、もしかするとバイト先や将来の勤務先で嫌な思いをすることもあるかもしれません。そういう場合、昔は我慢するしかありませんでした。しかし現在では、様々な法律ができ、セクハラやパワハラだけでなく、ジェンダーハラスメントや就活ハラスメントなど様々な「〇〇ハラスメント」に対して、苦情を申し立てができるようになっています。また、心理学の研究も進み、どういう人がハラスメントをしやすいかについてのデータが少しずつですが増えつつあります。当日は、ハラスメントに遭わない／しないために何ができるかを皆さんのお見も交えながらご紹介いたします。</p>	相談に応ず
反田 智之	講師	え？ それも認知心理学？	<p>「認知心理学」という単語はで聞き馴染みがないかもしれません。しかし、私たちの生活の中で、様々な場面で認知心理学は深く関わっています。イメージしやすいもので例をあげるとすれば、新商品やその広告を考えるときに、どうすれば「よい」と感じてもらえるかを認知心理学の観点で考えます。意外(だと思う)なところで例を挙げると、そもそも、今この文章を見て、読んで、理解し、何かしらを考えていると思いますが、それなら認知心理学の研究対象です。どうですか？少し身近に感じましたか？当日は、皆さんにもっと認知心理学を身近に、さらに面白いと感じてもらえるよう、デモンストレーションなどを交えながら楽しく紹介します。</p>	前期: 7月以降の 金曜日 他も相談可能。 土日はほとんど可。

人間文化学部 メディア・映像学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
田中 始男	教授	計算手法とコンピュータ	ICTの進展とともに、意思決定の様々な場面で、コンピュータシミュレーション手法が使われています。使われる技術の基礎とそれを実現するコンピュータプログラミングについて解説します。	金曜日
筒本 和広	教授	インターネットとeビジネス	eビジネスとは、インターネット、電子商取引などを利用した新しいビジネスモデルのことです。インターネットの世界は、日々、進歩発展しています。ネットワーク社会において新しいビジネスを展開していくためには、現状を把握して理解することが重要となります。インターネットを活用したeビジネスについて学んでみましょう。	土曜日
中嶋 健明	教授	映像コンテンツあれこれ	その昔オブライエンとハリー・ハウゼンによって開発されたストップモーションアニメーションに始まり、日本の着ぐるみを使った特撮映画へと発展し、やがてハリウッドのSFやアクション映画へと進化しました。その特撮技術の歴史を映像を観ながら簡単に解説します。また、様々な合成技術について、私が実際に制作した映像を観ていただきながら詳しく解説したいと思います。	金曜日
安田 暁	教授	光とかたち、 メディア、写真	「写真はメディアである」というと、新聞や雑誌、Webに掲載されている写真を思うのではないでしょうか。しかもしもしかすると、光が形として現れることにこそ、写真のメディア性があるのかもしれません。ここでは、サイアナタイプ(青写真)のワークショップを通じ、少し違う切り口から写真、メディアのことを考えてみます。	前期:金曜日(午前)
久保田テツ	准教授	映像ドキュメンテーション を考える	自分の生まれる前の地域の姿、参加できなかったライブや講演など、「その場」に立ち会うことのできなかった世界を伺い知るための技術という側面から、映像メディアを考えます。また、8mmなどによって記録された古い映像、ホームムービーなど半ばプライベートな記録が、現在においてはパブリックな資料として開かれていくことなどについて、実際に多様な映像を鑑賞しながら皆で対話したいと思います。	金曜(午前)

人間文化学部 メディア・映像学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
渡辺 浩司	准教授	ネットワークセキュリティ	ブログやSNSなどのネットサービスが毎日の生活に欠かせないものとなりました。しかしアカウント乗っ取りなど、危険もあります。とは言っても、「危ないから使わない」はもったいないです。ネットを使う上で「何に注意すればよいのか」というネットワークセキュリティの基本を解説します。	金曜日(午前)
洞ヶ瀬 真人	准教授	アニメ文化とジェンダー	アニメ文化には、女児向け／男児向けという性別の棲み分けがありながら、誰でもその間を行き来できるジェンダーフリーな面白さがあります。こうしたアニメならではの特徴が、ひょっとしたら私たちのもつ現実のジェンダー観にも影響を与えていたかもしれません。「アニメ」からジェンダー問題を見る上で、一般的なジェンダー問題の観点とはひと味違う議論をしたいと思います。	後期:木曜日(午前)
内垣戸 貴之	准教授	「伝える」をデザインする	普段コミュニケーションは主に「言葉」を介して行われます。しかしコミュニケーションにはそれ以外の様々な要素も関わってきています。そうした意識しないコミュニケーションツールに光をあてながら、「伝える」を考えてみます。	火曜日(午前)
林縁子	講師	キャラクターとファン	日本は、世界に類をみないキャラクター消費大国だといわれています。あらゆる世代の男女が何らかのキャラクターグッズを購入したり愛好したりしています。このような行為は、いつから始まり、どのように行われてきたのでしょうか。キャラクター愛好の歴史を概観しつつ、現代のアニメやゲームに登場するキャラクターのファンに注目してその特徴を考えてみます。	木曜日
岡田 翔	講師	メディアを考える	現在では、デジタルメディアの発展などから映像の在り方は多様化しています。例えば、写真は専門的ない知識が知らなくともスマートフォンで気軽に撮影が出来ます。そして、撮影した写真は撮影したスマートフォンで見ることが一般的です。ですが、その写真を紙に印刷することや、紙の書籍は不要になってしまってどうか。アートブックと呼ばれる写真集、作品集を実際に見ながら、データと印刷物の差異などメディアについて考えましょう。	金曜日(午前)

工学部 電気電子工学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
電気電子工学科教員		スマートなこれからの電子・電気工学	対話型のAI、自動運転する車、話しかけてくる自動販売機、コミュニケーションするロボットなど私たちの周りには「賢い=スマートな」装置が増えました。このような装置の仕組みはどうなっているのでしょうか？また、これからの生活はどうなってゆくのでしょうか？電気が支えるスマートな装置がもたらす未来の暮らしを考えてみましょう。	随時
仲嶋 一	教授	センサが拓く未来社会	スマートグリッド、スマートハウス、スマート医療、スマートモビリティーなど、世の中にはスマート化の流れにあります。スマートとは賢いという意味ですが、賢くあるためには周囲の状況を素早く、正確に把握するセンサが必須です。ウェアラブルに代表される先端センサは我々に何をもたらすのでしょうか。先端の技術を簡単に紹介し、未来社会を展望します。	前期:水曜日(午後)・土曜日 後期:月曜日(午後)・土曜日 何れも要調整
香川 直己	教授	大学で「ものづくり」を伝えるということ 「工学」とは何か？	工学とは、公共の安全、健康、福祉のために有用な事物や快適な環境を構築することを目的とする学問です。そのために、なぜそれが必要か？それを創ることで失うものは無いか？どのようにすれば無駄が少ないか？安全か？など、自然の摂理を知り、人類の歴史を知り、そして、未来を予測する温故知新的努力が求められます。大学で学ぶものづくり即ち「工学」とは何かに触れてみましょう。	前期: 木曜日 土曜日(要調整) 後期: 金曜日 土曜日(要調整)
香川 直己	教授	レーザと光のスマートな応用	人工的につくられたレーザの光は純粹な光の性質を持っています。ですから、私たちの身の回りではあまり実感することができない不思議な光の現象を比較的容易に実現することができます。この講義では、実演を交えてレーザとレーザ光線のスマートな性質と、私たちの生活につながる応用についてお話をしたいと思います。	前期: 木曜日 土曜日(要調整) 後期: 金曜日 土曜日(要調整)
歌谷 昌弘	教授	電気の供給とスマート化	二酸化炭素による地球温暖化の問題や、東日本大震災による原子力発電の安全性に対する不安から、太陽光・風力等の再生可能エネルギーを大量導入し、私たちが使う電気を貯う政策が進められています。この講義では、電気がどのようにして私たちに届けられているかをわかりやすく説明します。そして、発電量が不安定な再生可能エネルギーをどうしたら使えるようになるか、スマートな解決方法を皆さんと考えてみたいと思います。	前期:水・土曜日 後期:金・土曜日

工学部 電気電子工学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
菅原 聰	教授	省エネと パワーエレクトロニクス	私たちの生活は電気無くして成り立ちません。この電気を効率よく使用するためにパワーエレクトロニクスという技術があります。昨今、資源の有効利用が叫ばれる中、パワーエレクトロニクスの担う役割は日々拡大しています。この講義では、パワーエレクトロニクスの役割、応用分野、最近の技術動向について説明します。	前期:月・金曜日 後期:月・金曜日
田中 聰	准教授	AIの基礎	幅広く利用される技術となってきた人工知能(AI)技術について画像処理の観点から初心者向けに解説する。	前期:火水(いずれも午前を希望) 後期:月金
関根 康史	准教授	安全や環境から自動車を考える	自動車は、現代社会ではなくてはならない生活必需品となっております。しかしながら、生活を便利にしてくれる自動車も、使い方を誤れば、重大な事故を起こしてしまうこともあります。また、ガソリンなどの化石燃料はいずれ無くなります。安全技術、脱化石燃料への挑戦など、将来の自動車について紹介します。	相談に応ず
沖 俊任	准教授	ロボットの考えていること	ロボットと人の共通点として、どちらも体と知能があります。しかし、ロボットは人とは違い、人型、恐竜型、自動車型や腕だけなどといろいろあり、知能も会話や動作などいろいろです。この講義では、簡単な体と知能を持ったロボットを題材に、ロボットの成り立ちについて考えます。	前期:水・土曜日 後期:土曜日
伍賀 正典	准教授	ロボットの 身体・学習・進化	コンピュータ上で学習や適応、進化の手法を実現し、賢い機械を作成しようとする分野として計算知能というものがあります。この講義では、実際の生物のもつて いる学習や適応の能力を解析し、計算機シミュレーションや実際のロボットに適用する技術を通して自然における知能の成り立ちとその応用を紹介します。	前期:水・木曜日 後期:水・木曜日

工学部 建築学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
梅國 章	教授	建築生産とイノベーション	建築物を作り上げるためには、生産が必要です。その生産には行政から建物を使う人まで、多くの人々が関わっています。そのため、建築の生産は非常に面白いと、とても複雑です。ものを作ることが好きな人、人と一緒に何かするのが好きな人に建築業、建築産業について、お話ししたいと思います。また、建築業とイノベーションの関係についても、お話ししたいと思います。	相談に応じます
佐藤 圭一	教授	知ってる？ 世界遺産の建築	「世界遺産」誰でも一度は聞いたことがあるでしょう。世界中の多くの有名建築が、世界遺産に登録されています。そもそも世界遺産って何？世界に（日本に）何件あるの？国宝と世界遺産どっちが上なの？奈良の大仏やモナ・リザも世界遺産？京都とパリ、奈良とローマは同じ価値？福山城天守閣は世界遺産にならないの？（→成り得ます！）身近な世界遺産建築について学習しながら、最後に、世界遺産検定模擬試験にチャレンジしてみましょう。	相談に応じます
藤谷 秀雄	教授	建築構造の新しい技術	大地震が起きた時、建物を支える建築構造の役割について、理解してもらいたいと思います。そして、その役割をより良く果たすための新しい技術を紹介します。免震構造や制振構造という言葉を聞いたことがありますか。これらの技術によって、大地震時に建築構造がどのような役割を持つことができるかを紹介します。でも少しだけ技術の中身や研究開発の状況も紹介します。将来、このような技術開発に興味を持つてもらえることを期待しています。	相談に応じます
都祭 弘幸	教授	カキ殻の活用を一緒に考えよう！	広島県は全国有数（約6割）のカキ生産地ですが、同時に約20万m ³ ものカキ殻（産業廃棄物）も発生しています。カキ殻の処理には、環境保全・衛生管理・再資源化を目的とした広島県ルール（条例）があります。カキ殻処理量の拡大はカキ養殖業にとって喫緊の課題です。カキ殻を利用した大学の研究の一部を紹介します。活用法をグループで考えてみよう！	相談に応じます
藤原 美樹	教授	インテリアを楽しもう！	身近にあるインテリアや照明について、北欧家具を中心に日本や中国の影響を解説します。	木曜日

工学部 建築学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
島田 美和子	教授	住環境とカラー・バリアフリー	「カラー・バリアフリー」とは、色の識別能力が低い人でも色覚の障壁(バリア)を感じることなく、誰もが見やすい配色にすることです。 例えば、高齢者の場合、加齢に伴う変化に対応した施設のカラー計画が重要です。また、色彩異常等の障害をもつ人にも配慮が求められています。これが、色覚の多様性に配慮して、より多くの人に利用しやすい製品や環境、サービス、情報を提供するという考え方である「カラーユニバーサルデザイン」へつながるのです。色の持つ特性を学んで住環境を見直す機会にしてみませんか？	相談に応じます
河口 佳介	教授	環境と建築	建築家として自然の中でその環境特性を活かしながら建築を考えました。今までの建築作品を取り上げながら解説付きで生徒たちにわかりやすく建築設計の醍醐味を話します。	月曜日 火曜日 水曜日
山下 敬広	准教授	光のデザイン	教会や茶室などでは、そこを訪れる人に感動や心地よさを与えるために光の取り入れ方が巧みにデザインされています。窓のない空間に見立てた段ボール箱の中を覗き込み、自由に穴をあけることで光のデザインを行う体験学習を行います。この学習内容を踏まえて、人の体験や心理から建築をデザインする方法について解説します。	相談に応じます
伊澤 康一	准教授	建築と環境	環境調和型社会をめざして、建築の「内環境」と「外環境」の持続可能デザインについて考えます。居住者の健康・快適を実現し、かつ、地域環境・地球環境への負担が小さい建築環境の構築には、パッシブシステム(建築外皮)を基調とし、それに相応しいアクティブシステム(建築設備)を組合せる統合技術が鍵になってきます。建築を軸足とした環境学概論をお話します。	相談に応じます

工学部 建築学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
大畠 友紀	講師	ボードゲームで学ぶ 都市問題	「都市問題」と聞くと、個人では解決できないような大きな問題に感じます。しかし、一人ひとりの意識を変えることが、問題解決の近道になります。楽しみながら知り、自分自身のこととして考えるきっかけを作るためにゲームを用いた学習を行います。「空き家」や「交通難民」などを取り上げます。	相談に応じます
酒井 要	助教	「逃げ地図」づくりで学ぶ 防災とICTの活用	「逃げ地図」は、災害リスクを把握したうえで、設定地点へ安全に避難できるルートを移動時間で色分けして表現する地図です。この地図づくりは、災害時の行動計画や避難ルートを可視化する有効な手段であることから、防災意識を高めるメニューとして注目されています。この「逃げ地図」づくりを通して、災害リスクや防災情報を入手するICTスキルを身に付け、安全な避難ルートを検討することに取り組みます。	相談に応じます

工学部 情報工学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
金子 邦彦	教授	人工知能の仕組み、 人工知能でできること	人工知能は、私たちの社会や生活を大きく変えつつあります。そして、人工知能のスピーカーや、お掃除ロボットなど、すでに、人工知能は身近になっています。いま、人工知能を使って、翻訳、画像や顔などの判別、自動運転などさまざまなことができるようになってきました。人工知能を知っておくことは、とても有益です。初心者にも分かりやすく説明します。	相談に応ず
尾関 孝史	教授	コンピュータの歴史	コンピュータはいつごろ、だれが発明したのでしょうか。また、コンピュータはどのように進化したのでしょうか。コンピュータの歴史を振り返り、コンピュータをどのように開発し、どのように普及したかを解説し、今後どのような情報化社会になるかの予想までお話しします。	相談に応ず
池岡 宏	教授	ディープラーニングによる 人工知能の実現	最近、AI(人工知能)のニュースを目にする機会が多くなりましたが、この背景の一つにディープラーニングと呼ばれる機械学習手法の進歩・確立があります。ディープラーニングの基礎について画像認識の視点から解説するとともに、AIの今後動向・応用についても簡単に見ていきます。	前期: 金曜日 後期: 金曜日
中道 上	教授	サービスをデザインする	さまざまな業界においてイノベーションへの発展が求められています。そのアイデアはどこから生まれ、創られるのでしょうか？サービスを創るための取り組みとして「デザインリサーチ」に着目し、企業での適用事例や大学での取り組みについて紹介いたします。最後は、皆さんにデザインリサーチの一部を体験し、サービスを検討してもらいたいと思います。	前期: 金曜日 後期: 金曜日
谷口 億宇	教授	天体で起きる原子核反応	原子核反応は、我々にとって身近な現象です。太陽や夜空の星々が光っているのは、そこで原子核反応が起きているためです。また、我々の肉体を構成する炭素や酸素や窒素やカルシウムなどは、天体での核反応によって合成されました。天体の環境を実験室で再現することは必ずしも容易でなく、天体での核反応の理解には数値シミュレーションが重要となります。数値シミュレーションによる、天体における核反応の研究を、最新の知見を含めて紹介します。	相談に応ず

工学部 情報工学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
今井 勝喜	准教授	計算と自然とのかかわり	天気予報など、コンピュータで自然界のものごとをシミュレートするのが日常になっています。今では当たり前のコンピュータ=計算機は、逆にかつて計算をシミュレートできる物理現象を見つけ出す数々の試みの結果生み出されたもので、わたしたちの計算行為そのものが自然現象によるシミュレートの結果です。そういう計算と自然のかかわりについて紹介します。	相談に応ず
宮崎 光二	准教授	プログラミングの話	WindowsなどのOSをはじめ、コンピュータ上で動くソフトウェアはすべてプログラミングの作業を経て作成されています。プログラミングに関する技術は多種多様で、グラフィックス、ネットワーク、携帯デバイスなどいろいろあります。本講では携帯アプリの作成例などを挙げ、プログラミングに関する様々なことを紹介します。	前期: 水曜日 後期: 月曜日
滑川 裕介	准教授	スーパーコンピュータとデータサイエンス	スーパーコンピュータやAIの進化に伴い、これまで解けなかった問題が解けるようになりつつあります。物理学の難問として知られる符号問題も、その一つです。また、大量のデータが取り扱えるようになつたため、データに基づく予測や効果検証の精度が飛躍的に向上しています。本講では、これらの最新知見を解説します。	相談に応ず
森田 翔太	講師	音とコンピュータ	音とは何か？人は音声をどのように発して聴いているのか？音をどのようにコンピュータで扱っているのか？といった話から、音声合成や音声認識をコンピュータでどのように行っているのか？といった話までを紹介します。	前期: 水曜日 後期: 火曜日
天満 誠也	助教	形態素解析システムの体験	日本語は、単語と単語をつなげて文を記します。形態素解析システムは、文から単語を自動的に分けることができるだけでなく、品詞の付与もできる優れものです。これはデータ解析や機械学習を行うためには欠かせない機能です。実際に体験してみましょう。	前期: 金曜日 後期: 金曜日
上野 貴弘	助教	皆さんの日常はどれだけデジタル化されている？	今や、デジタル情報を扱う機械(スマホやPC)は、生活の中で切り離せない関係にあります。それは、機械が皆さんの日常をデジタル化して、生活をアシストしているからです。では、皆さんの日常の中で、どのような情報がデジタル化されて便利になっているのか、AIに関する応用も含めて紹介していきます。	相談に応ず

工学部 機械システム工学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
木村 純壯	教授	機械をあやつる	身の回りには便利な機械がたくさんあります。機械は、自動で思いのままに動かなければ役に立ちません。役立つ機械には、制御が必要です。制御では、機械の状態を正確に計測し、その結果に基づいて操作を決めます。このような制御方法をフィードバック制御と呼んでいます。機械のフィードバック制御のしくみについて解説します。	相談に応ず
西尾 茂	教授	船でしか運べない物と船で運ぶ理由	日本の貿易において、その99.6%は海上輸送で運ばれています。海上輸送には、他の交通機関には真似のできない天から与えられた優越性が有るのですが、この事を正しく理解している人は多くないです。本講義では、海上輸送と他の交通機関の比較を交通工学の立場から解説すると共に、船舶を設計するにあたり最も重要視される抵抗の低減法の初步を判りやすく紹介するものです。	相談に応ず
真鍋 圭司	教授	計算機で解く機械工学	物体の変形、物体まわりの流れなど、機械工学における重要な問題を計算機によって解析する方法を説明します。また、計算結果をいくつか紹介します。数学を応用し、力学の問題が計算機によってどのように解かれるかを感じ取ってください。	相談に応ず
田中 寿夫	教授	船の世界	日本をはじめとして多くの国では、社会に必要な物資は依然として船舶で運ばれており、私たちの生活に船は必要不可欠なものであり続けています。さらに、これらの物資の大半は国をまたいで運ばれるため、船は国と国を繋ぐ大切な絆にもなっています。このような船がどうやって作られ、どのように使われるのか、また今後、どのように発展するのか、をわかりやすくご紹介します。	火・水・木 (相談に応ず)
坂口 勝次	教授	熱エネルギーとその利用	人類は火を使い始めた大昔から熱エネルギーを利用し、今では大きな動力に変換することも可能になっています。この講義では、家庭や産業など社会の至る所で利用されている熱エネルギーがどのようなものなのか、熱がどのように伝わるのか、また、熱エネルギーが実際にどのように利用されているのかを紹介します。	相談に応ず

工学部 機械システム工学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
加藤 昌彦	教授	ナノが拓く新しい機械	化粧品や食料品など我々の身の回りの製品は、ナノテクノロジーの進歩により、これまででは考えられない素晴らしい性能が得られるようになりました。機械工学の分野でも同じく、従来では考えられないような素晴らしい特性が得られるようになりました。機械工学におけるナノテクノロジーを最新の研究を交えながら紹介します。	相談に応ず
中東 潤	准教授	『水素』の新しい使い方	水素は次世代のクリーンエネルギーの1つとして広く認識されるようになってきましたが、金属材料の分野でも注目を浴びてきています。それは、この水素を金属に対して上手く使うことによって、いろいろな現象が出てくることがわかつってきたからです。この講義では、そんな水素の新しい使い方について紹介します。	相談に応ず
小林 正明	講師	交通渋滞のメカニズムとその対策	自動車は大変便利な乗り物です。しかし、自動車が増加すると交通渋滞も頻繁に発生してしまいます。交通渋滞の発生には、様々な原因が考えられます。この講義では、交通渋滞のメカニズムを理解し、交通渋滞の対策について紹介していきます。また、最先端の交通情報システムであるITSについても紹介していきます。	相談に応ず
金谷 健太郎	講師	流れの謎を解く	空気や水などの気体や液体は、その形を自由に変えることができるから流体といわれています。この講義では、我々の身の回りや産業界で現れる流体の流れの現象について説明します。	相談に応ず

生命工学部 生物科学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
久富 泰資	教授	福山バラの酵母プロジェクト	私たちは、「ばらのまち福山」で栽培されたバラの花から1300株を超す野生酵母を分離しました。そして、バイオの力を最大限に利用して、新たな発酵食品を作り出す安全性に優れた「福山バラ酵母」を確立しました。これまでに、「福山バラ酵母」で製造したパン種、ワイン、クラフトビール、日本酒を世に出ており、2025年の世界バラ会議福山大会での活躍が期待されます。この研究経過をわかりやすく解説します。	相談により調整可能
太田 雅也	教授	糖鎖のお話し	哺乳動物細胞の生体膜には様々な糖鎖が存在し、細胞、組織、そして個体を丸ごと見ていく生物学の領域では重要な因子です。糖鎖は、単に生化学的な構造が機能と結びついているだけでなく、どのタンパク質のどこに糖鎖が付加しているのか、どの細胞でその糖鎖を持つタンパク質が存在するのか、も重要なです。インフルエンザウイルスの感染に糖鎖が重要な役割を持つことは知られていますが、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)も糖鎖が重要であるようです。	相談により調整可能
佐藤 淳	教授	生物多様性って何だろう？	現代は、第六の大量絶滅の時代にあり、生物多様性の損失の危機に直面しています。生物多様性を回復させるネイチャーポジティブの達成や、自然共生社会の形成は、社会が抱える大きな課題です。持続可能な社会を構築するためには、身近な生態系の仕組みや生態系がもたらす恵みについてもっとよく知らなければなりません。近年、DNA分析技術が発展し、水や糞などの環境サンプルから生物を検出できるようになりました（環境DNA技術）。その結果、生物の在不在やそのつながりである食物連鎖をより深く理解することができるようになりました。本講座では、生物多様性の基礎を理解していただくとともに、その仕組みを分析する手法を紹介し、皆さんと一緒に、生物多様性をどのように守っていくべきかを考えます。	相談により調整可能

生命工学部 生物科学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
吉崎 隆之	准教授	バイオテクノロジーの原点である発酵を学ぶ	「ワイン」はおそらく人類が初めて口にしたお酒です。ブドウ果汁は野生酵母の作用でワインになりますが、この過程に人の手は必ずしも必要としないからです。一方ワインの品質は原料の出来で大きく左右され、科学だけでは推し量れない複雑な味わいもたらします。この講義ではワインを通した「発酵」の世界とその奥深さを紹介します。	相談により調整可能
石塚 真太郎	講師	霊長類の群れ生活を知る	ヒトやサルが含まれる霊長類は、ほとんどどの種が集団をつくって生活します。彼らはどのように集団のメンバーと関わり、生きているのでしょうか？そこにはさまざま争いや協力が隠されているはずです。この講義では野生のボノボやニホンザルを例とし、霊長類の群れ生活の不思議を紹介します。	相談により調整可能

生命工学部 健康栄養科学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
菊田 安至	教授	太る遺伝子	遺伝子の世界にも生存競争があります。たくさんの子孫に受け継がれた遺伝子は、何千年、何万年と生き残りますが、受け継がれなかつた遺伝子は淘汰されます。そのため、健康に生活して確実に子孫を残すのに役立つ遺伝子が、生存競争の勝者となります。ところが私たちの体内には「太る遺伝子」があり、肥満を引き起こして様々な病気の原因となることがあります。「太る遺伝子」がなぜ生存競争を勝ち、これからどうなっていくのかを考えます。	相談により調整可能
石井 香代子	教授	料理を美味しくするコツ	料理は色々ありますね。味や色・形など美味しいするコツの科学をお話します。調理科学の視点から解説します。料理好きな方もそうでない方も、参考になること間違い無しです。栄養のバランスも少し解説します。	相談により調整可能
内海 好規	教授	未来を支えるキャッサバとでんぶんの研究	わたしたちの食卓を支える作物には、米や小麦だけでなく、「キャッサバ」という熱帯のいも類もあります。キャッサバはアフリカやアジアで主食として食べられており、気候変動にも強い植物です。私の研究室では、このキャッサバや植物がつくる「でんぶん」に注目し、健康や社会に役立つ成分に改良する研究を進めています。食と経済活動、科学をつなぐこの研究は、将来の食料問題や環境問題の解決にもつながると考えています。	相談により調整可能
吉田 純子	准教授	お母さんと赤ちゃんの栄養	赤ちゃんはどのようにして栄養をとっているのでしょうか？お母さんのお腹にいる時から、生まれてすくすく成長するまでの栄養についてお話します。葉酸という栄養素は聞いたことがありますか？人の成長に欠かせないため、女性はお腹に生命が宿る前から摂取を推奨されています。葉酸の働きと上手な摂り方を紹介します。	相談により調整可能
村上 泰子	准教授	あなたをつくる「食」	私たちの身体は、全て食べ物に由来します。そして、進化の過程で獲得してきた、食をはじめとする生活環境に適応するためのシステムを持っています。今、「食」の変化が、現代人の健康に大きな影響を与えています。健康な身体は、規則正しい食生活から。この当たり前のことの理由を、分かりやすく説明します。	相談により調整可能

生命工学部 海洋生物科学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
太田 健吾	教授	稚魚のゆりかご瀬戸内海 豊饒の海の復活と沿岸漁業の振興を目指して	古来より魚介類をタンパク摂取源とする日本人にとって水産物の持続的な利活用は社会を支える重要事項です。福山大学では因島の内海生物資源研究所でシロギス養殖やオニオコゼ、キジハタの標識放流を行い、尾道市等と連携して地域の水産業への貢献を目指しています。講義ではその取り組み内容について写真やイラストを使ってわかりやすく紹介します。	相談により調整可能
山岸 幸正	教授	藻場の役割	海岸で海藻や海草が繁茂する「藻場」には、魚類や甲殻類など多くの海洋生物がみられ、海の生態系において重要な役割を果たしています。この講義では、藻場の種類と特徴、沿岸生態系における役割、瀬戸内海で展開している藻場の調査研究について紹介します。	相談により調整可能
我如古 菜月	講師	どうして魚は”魚臭い”のか？	どんな魚にも必ず特有のニオイ、すなわち「魚くささ」があります。どうして魚は魚臭いのでしょうか？そこには「鮮度」と「酸化」が関係しています。魚臭さの発生のメカニズムや、魚の種類の違いによる魚臭さの違いなどを解説し、生活の中でできる抑臭方法について紹介します。	相談により調整可能
泉貴人	講師	Dr.クラゲさんの教える！ 新種発見講座	生物学のロマン、それが“新種発見”。では皆さん、そもそも新種とは何か、答えられるだろうか？本講義は、「歴代日本一、イソギンチャクの新種を発見した男」である泉講師が、新種発見の極意と楽しさを語り倒す、抱腹絶倒の冒険談となります。	相談により調整可能

薬学部 薬学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
佐藤 英治	教授	「薬剤師の仕事って？」 ～大きく変わった薬剤師の仕事～	近年、医療現場における薬剤師の役割は大きく変わっています。薬学部も6年制となり、従来の「お薬を調剤(調製)して渡してくれるヒト」から「薬の真のプロフェッショナル」へと変化してきました。ここでは、薬剤師が医療現場で何を行っているのか、何を期待されているのか、また今後、何を行わなければならないのかについて分かりやすく説明します。	相談に応ず
今 重之	教授	抗体を用いた治療薬	病原体が体内に侵入すると私たちの免疫系が反応し、抗体を放出して病原体を排除します。抗体を人工的に作製し、疾患増悪化の鍵となる“悪い奴”を退治しようとするのが抗体医薬です。抗体医薬の登場により、有効な治療法が存在しなかつた疾患も治るようになってきました。ここでは抗体医薬の作り方と治療効果を紹介します。	相談に応ず
田村 豊	教授	痛みを止める！ －鎮痛薬と薬の歴史－	患者さんの訴えの中で最も多いのが”痛い”です。痛みは不快で苦痛を与えるものですが、一方で生体の警告系としての重要な働きもあります。人は痛みとどの様に向き合ってきたのか？そして現在はどんな痛み止めが使われているかをお話します。	相談に応ず
田村 豊	教授	冬眠のメカニズムを医療に応用したい！	大学では、教育だけでなく様々な研究も行っています。大学教員が何を目指して研究を行っているか紹介します。ハムスターはペットとして人気の高い動物ですが、実は冬眠できる哺乳動物です。では、ハムスターはどうやって冬眠するのでしょうか？ヒトの医療へ応用はできるのでしょうか？についてお話しします。	相談に応ず
小嶋 英二朗	教授	血液の話 －血液型から遺伝、免疫まで－	血液型占いのおかげで血液型を知らない日本人は少ないと思いますが、血液型とはABO型だけと思っていませんか？ABO型はおよそ29種類ある赤血球型の一つです。他にも白血球型、血小板型など、非常にたくさんの型が存在します。そんな血液型の話を、遺伝や生体防御機能を交えてお話しします。	相談に応ず

薬学部 薬学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
佐藤 雄己	教授	薬の体内旅行 ～薬のA・D・M・E(アドメ)	薬物は体内に入ってからADME(アドメ)すなわち「吸収」「分布」「代謝」「排泄」という過程を経ます。これを薬物動態といい、これを理解すれば、身体の変化がどうして薬物に影響を及ぼすかがわかりやすくなります。この講義では薬のADMEの点からどうして薬が効くのか、副作用が出るのか、身体の変化が薬の効果に与える影響について、薬の体内旅行をしながら詳しく解説します。	相談に応ず
片山 博和	教授	ザ・薬剤学 —くすりの投与に関する学問—	・錠剤、カプセル剤の作り方、特徴について。 ・くすりが体内でどのように動いていくのかについて。 ・ユニークなくすりについて。 ・新薬開発の流れについて。 ・薬剤師の仕事内容について。	相談に応ず
赤崎 健司	教授	予防薬としてのワクチン	ウイルスや細菌が原因となる病気を感染症と呼びます。感染症の治療には抗生物質や抗ウイルス剤が使われています。一方、ワクチンはヒトに本来備わった「免疫」を利用した感染症の予防のための薬と考えられます。免疫の仕組みと予防薬としてのワクチンについて平易に解説する予定です。	相談に応ず
杉原 成美	教授	身近に潜む薬物の乱用	かつて社会問題となった危険ドラッグは、芳香剤、入浴剤、あるいは健康食品として偽って売買されていました。治療ではなく乱用目的に使用されたくすりもあります。過量飲酒も該当します。薬物乱用は姿や形を変えて後を絶ちません。私たちの身近に潜む薬物乱用と社会や人体に与える影響について分かり易く解説します。	相談に応ず
杉原 成美	教授	地域の健康をサポートする 薬局薬剤師	高齢化社会が進み、健康寿命の延伸が望まれる中で、医薬品の提供のみならず地域の人々のセルフメディケーション、健康増進や疾病予防、さらには福祉の領域で期待される薬剤師の役割を紹介します。また、アメリカやタイにおける地域薬局の薬剤師の活躍についても紹介します。	相談に応ず

薬学部 薬学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
井上 敦子	教授	からだの神経系の仕組みとくすりの効き方	生きていくために、私たちは神経系、内分泌系、免疫系をうまく使って、からだの各部から、情報を得て指令を伝えています。神経系は、情報指令の伝導路網として、例えば、痛みを感じて危険から逃げたり、血圧や体温をいつもの状態に維持することに携わっています。その仕組みが故障したら、どうなるのでしょうか。私たちは、くすりを使って、どのように故障を補つていけるでしょうか。神経系の働きと神経系に対するくすりの効き方について考えてみましょう。	相談に応ず
田中 哲郎	教授	くすりの形と体内での運命	くすりには、錠剤や散剤のような固形のものやシロップ剤のような液状のものなど、様々な形があります。このくすりの形のことを剤形といいます。くすりの使用方法は剤形によって異なります。さらに、剤形に応じてくすりの体の中での運命も違ってきます。つまり、くすりの効き方は剤形によって変わるのでです。ここでは、くすりの剤形を紹介するとともに体内での運命について解説します。	相談に応ず
町支 臣成	教授	健康を維持するくすりの誕生と実践的薬剤師	くすりは病気と戦う武器として使用されています。そのためくすりがどのようにして誕生しているのかを解説するとともに、「くすりを創る」あるいは「くすりを使用する」ために有機化学がどのように係っているのでしょうか。このような観点から、表題について述べたいと思います。	相談に応ず
井上 裕文	教授	混合物を分ける—クロマトグラフィーの原理—	私たちの周りには、様々な化合物が存在し、これらの化合物は多くの場合、混合物として存在しています。混合物中に存在するある特定の物質の量を調べるとき、その目的物質を混合物中から分ける(分離する)必要があります。ここでは、混合物中からの物質を分離する方法とその原理について述べます。	相談に応ず
秦 季之	教授	コンピュータで薬をつくる	現在、1つの薬を作るのに莫大な開発費が必要とされています。そこで、合理的に薬物分子が開発することができれば、短時間に開発費を抑えて薬を世に出すことができます。合理的に薬物分子を見出す方法の1つに、ドッキングシミュレーションがあります。ここでは、ドッキングシミュレーションの基礎を説明し、応用例を例示します。	相談に応ず

薬学部 薬学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
道原 明宏	教授	コレステロールの重要性	コレステロールの過剰摂取は、心筋梗塞や脳卒中を引き起こすことが知られています。しかし、コレステロール不足が引き起こす疾病についてはあまり知られていません。ここでは、コレステロール不足が引き起こす体への影響やコレステロールの重要性について解説します。	相談に応ず
高根 浩	教授	薬剤師のプロフェッショナリズム	実際の医療現場の中で何がおこり、薬剤師は何をしているのか?、医師などの医療従事者と一緒に医療(薬物治療)に参加しているのか?、患者や社会への責任とは?。病院薬剤師として、患者と向き合う医療現場の最前線で問題解決に臨み続けた自身の経験をもとに「薬剤師のプロフェッショナリズム」について紹介します。	相談に応ず
重永 章	教授	くすりを設計してみよう	多くの薬の活性本体は有機小分子です。これら分子はどのようにして発見されたのでしょうか?大半は、たくさん用意した分子の中から偶然見つかったものです。しかし近年、活性本体である分子を論理的に設計することが可能になってきています。本講義では市販されている薬を例に挙げ、薬の設計法について解説します。	相談に応ず
竹田 修三	教授	大麻とアサ:何がちがうの?	みなさんは「大麻=乱用」というイメージをお持ちと思います。しかし、身のまわりには大麻に関連する製品がたくさんあります。例えば、七味唐辛子には「麻の実」が入っていますが、食べても逮捕されません。いったいこれらの何が違うのでしょうか? このように、謎の多い大麻について解説します。	相談に応ず
木平 孝高	教授	病気と酸素	酸素は、エネルギーを産生するためになくてはならないものです。大気中の酸素濃度は約20%ですが、体の内部では組織ごとに酸素濃度が大きく異なります。また、病気や障害の種類によっては組織での酸素濃度が大きく変化する場合があります。ここでは、病気や障害における酸素の役割について解説します。	相談に応ず

薬学部 薬学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
松岡 浩史	教授	遺伝子組換え医薬品 ～ヒトインスリンができるまで～	現在、組換えDNA技術を利用することで「天然に微量にしか存在しないタンパク質」や「ヒトのタンパク質」を大量に生産して医薬品に用いることが可能になりました。ここでは、日本で最初に承認された組換え医薬品であるヒトインスリンを例に、どのようにして組換え医薬品がつくられているのかを解説します。	相談に応ず
山下 純	准教授	生活習慣を改善するためのコーチング	健康診断でコレステロールなどの検査値が高くなつたと親や親せきの方が話しているのを聞いたことがありますか？原因は、カロリーの高い食生活や運動不足と本人はすでに分かっています。太り過ぎにならないように、よくない生活習慣を改善しなければいけないこともわかっています。しかし、そう言いながらも改善するようには見えません。なぜなのでしょうか？そういう人たちは「意志が弱い」のでしょうか？いいえ、そうではありません。例えば、勉強する、甘いものを食べない、運動を毎日する、お薬を忘れずに飲むなど、しなければいけないと分かっているのに、継続できないという行為は、誰にも起こることだと最近分かってきました。また、このような状況にいる人が「コーチング」というコミュニケーションの技法を使う支援者に、自身の課題について話すことで、その人の課題が整理され実行に移すことができるという面白い効果があることもわかつきました。医療者も注目しているコーチングを皆さんに紹介しながら、実際にコーチングを体験していただきたいと思います。	相談に応ず
本屋敷 敏雄	准教授	薬と毒の関係	薬は病気を治す安全なもので、毒は身体に害を及ぼす危険なものというイメージがあるが、両者は基本的には一緒です。これらはともに生物活性物質あるいは生理活性物質と呼ばれ、それらがヒトにとって有益な(好ましい)作用をする場合に「薬」、逆に有害な(好ましくない)作用をする場合に「毒」としています。ゆえに、薬の用法・用量を間違えると、好ましくない毒としての副作用が発現します。しかし、危険と思われている毒も使いようによっては薬になる場合があるので、これらについて説明します。	相談に応ず

薬学部 薬学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
渡邊 正知	准教授	脳の病を治すためには？	脳の病(てんかん・脳梗塞・アルツハイマーなど)は、なぜ治らないのでしょうか？それは脳の複雑かつ精巧な仕組みと深く関係しています。では、どんな知識を得れば病気の治療や予防あるいは後遺症の軽減につながるのでしょうか？科学や薬の立場から考えてみましょう。	相談に応ず
五郎丸 剛	准教授	薬の相互作用	病気の治療に欠かせない薬ですが、一緒に服用する薬や飲食物の組み合わせにより、その薬の効果が減弱したり、増強したりする場合があります。本講義では、薬効に影響する薬と薬あるいは飲食物との組み合わせ(相互作用)について具体例を示し、その原因を解説します。	相談に応ず
坂根 洋	准教授	感染症の現状とその予防	感染症は、病原体の体内への侵入により引き起こされる病気です。今まで知られていなかった感染症が新たに見つかったり、かつて制圧したと考えられていた感染症が再び猛威を振るうなど、感染症の現状は日々変化しています。そこで、感染症について理解を深めるため、私達をとりまく感染症の現状を解説します。	相談に応ず
前原 昭次	准教授	微生物が創り出す有用物質	フレミングがアオカビからペニシリンを発見して以来、感染症に対する治療法は、現在の抗生物質を用いた方法が主流になっています。それに伴い、 streptomyces やテトラサイクリンなどの新たな抗生物質が次々と微生物の産生物質として発見され、現在の医療にも用いられています。ここでは、微生物によって、どのような化学物質が産生され、どのように私たちの生活に役立っているかをお話しします。	相談に応ず
大西 正俊	准教授	うつ病について	現代社会は生きてるだけでストレスフル。このような『疲れ』は確実に私たちの心を蝕んでいます。自殺者数が毎年3万人を超えるこの現代病のしくみが分かると、大切な人がうつ病を患ってしまった時、どうすればいいか分かります。精神疾患に対する偏見がなくなることを切望します。	相談に応ず

薬学部 薬学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
小川 祥二郎	准教授	痛みの少ない検査法の開発を目指して	病気の診断のための試料として現在広く使われているのは血液です。しかし、採血は痛みを伴うばかりか、例えば新生児などは採血する量にも気を付けないといけません。ここでは血液の代わりとして被験者フレンドリーな爪、唾液を試料とした新しい検査法の開発について私たちの研究成果を交えて説明したいと思います。	相談に応ず
上敷領 淳	准教授	病気にならないための健康管理	普段の生活の中で健康管理に努めることは、病気にならないために重要です。多くの保健機能食品(サプリメントやトクホ商品)が流通しており、食生活で不足しがちな栄養素を補うことで健康管理に役立っています。ここでは、保健機能食品が健康維持にどのように役立つか、また、どのような使い方が望ましいかを紹介します。	相談に応ず
広瀬 雅一	講師	「治験」って何か知つてみよう	新聞広告やテレビCMでも目にするようになった「治験」(臨床試験)とは、一体どんなものか、気になった人はいませんか? 一つの化合物がクスリとして承認されるためには、ヒトでも検証する必要があり、その試験が治験です。難しそうな話と思われるかも知れませんが、分かりやすくかみ砕いて、治験の概略をお話します。	相談に応ず
半田 由佳	講師	微生物って何かな? どんなもの?	微生物と聞いて何を思い浮かべますか? 微生物といえば、バイ菌や病気を思い浮かべるひとが多いかもしれません。しかししながら、微生物にはパンやお酒、医薬品の製造に欠かせないもの、プロバイオティクスによる健康増進など私たちの生活を豊かにするもの、地球環境の維持や環境保全に役立つもの、極限環境で生育するものなど様々です。私たちの生活と関わりの深い微生物を通して、微生物って何か、どんなものかを学びましょう。	相談に応ず
松岡 啓輔	講師	看取りに関わる薬剤師の活動	看取りって知つてますか? 昔はほとんどの方が病院で亡くなられていましたが、今は自宅で亡くなりたいという方もいらっしゃいます。自分はどこでどのように余生を送り亡くなりたいかを、事前に確認しておくアドバンス・ケア・プランニング(ACP)という活動も進んできています。在宅専門医、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャーなど、その人の最後を叶えるために、地域の多職種がチーム医療を行っています。その世界を紹介します。	相談に応ず

薬学部 薬学科

教員名	職名	テーマ	講義内容	講義可能日
中村 徹也	講師	うつかりドーピング —禁止物質の摂取—	スポーツにおいて公平な勝負を行うことはアスリートの心構えとして必要不可欠です。しかし、病気の治療のために使用した薬などによってドーピングとなる、いわゆる“うつかりドーピング”で、競技成績の失効や資格停止となる例が挙げられています。ここでは、市販の薬やサプリメントで禁止物質となる物について解説します。	相談に応ず
西山 卓志	講師	人の役に立つくすりの誕生 と薬剤師の役割	くすりは病気と戦う武器として使用されています。人の役に立つくすり(有機化合物)がどのように創られるのかを解説するとともに、薬学(創薬)を学んだ薬剤師がどのように関わっているのかについて説明したいと思います。	相談に応ず
喜屋武 龍二	助教	鏡の構造を持つくすりと その作り方	我々の体を構成する生体分子であるアミノ酸や糖、脂質は鏡の構造を持つ有機化合物であり、それらによって作り出される我々の体は鏡の世界です。そのため、我々が扱うくすりにおいても、鏡の構造はその薬効や副作用の発現などと非常に密接に関係します。 本講義では、有名な薬害事件を引き起こしたサリドマイドを例に有機化合物中の鏡の構造の重要性と鏡の構造を持つくすりの作り方について解説します。	相談に応ず
志摩 亜季保	助教	遺伝子多型と個人の 体質について	私たち人間は、似ている人はいても人種や体質など全く同じ人はいません。それは、体質などを決める遺伝子情報(DNA)が皆それぞれ少しずつ異なっているからです。ここでは、遺伝子多型と体質についてお話しします。	相談に応ず
番匠谷 研吾	助教	データサイエンスが切り拓く 医療の未来	データサイエンスは、数学と統計、プログラミング、機械学習、人工知能(AI)等を、目的とするデータと組み合わせて、データに隠されている問題解決に必要な情報を明らかにします。 医療を題材にしたデータサイエンスの活用について、簡単にお話しします。	相談に応ず